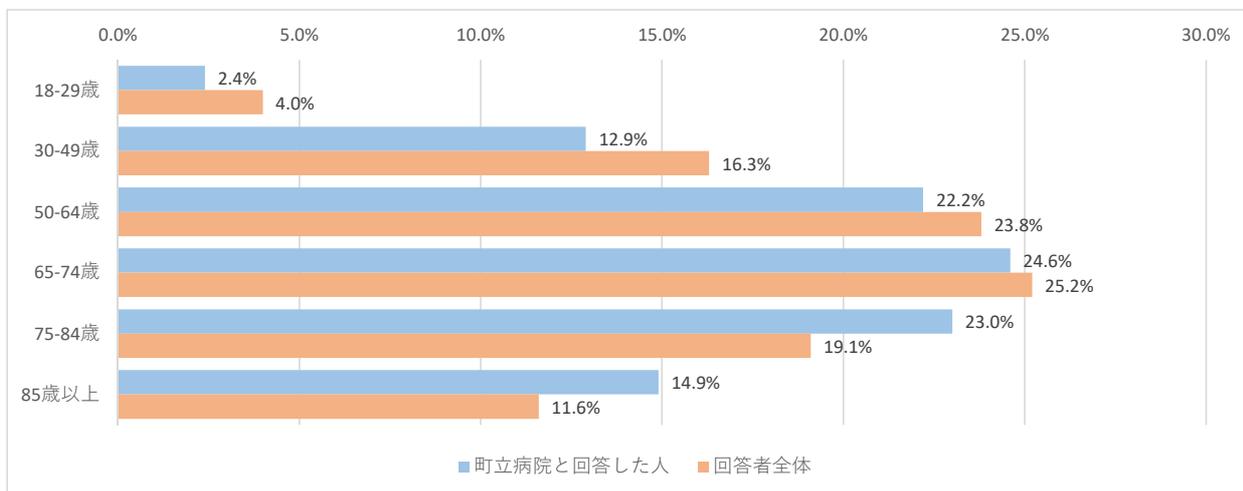


## アンケート調査結果の分析

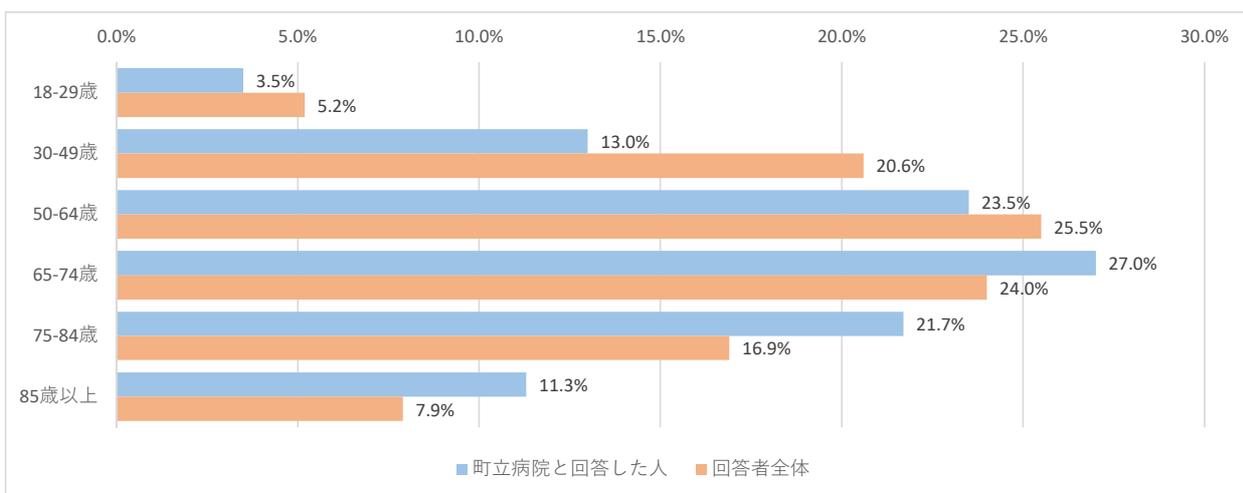
【年齢区分による回答率の変化】

## 問2 (2)最も利用している医療機関はどこですか … 町立病院と回答した人の年齢構成

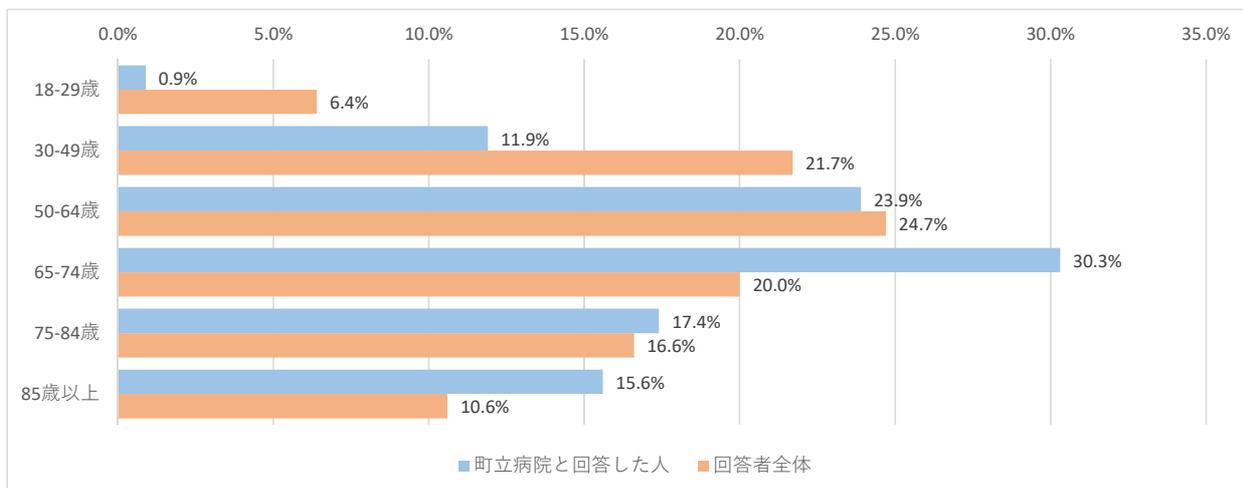
## ①内科



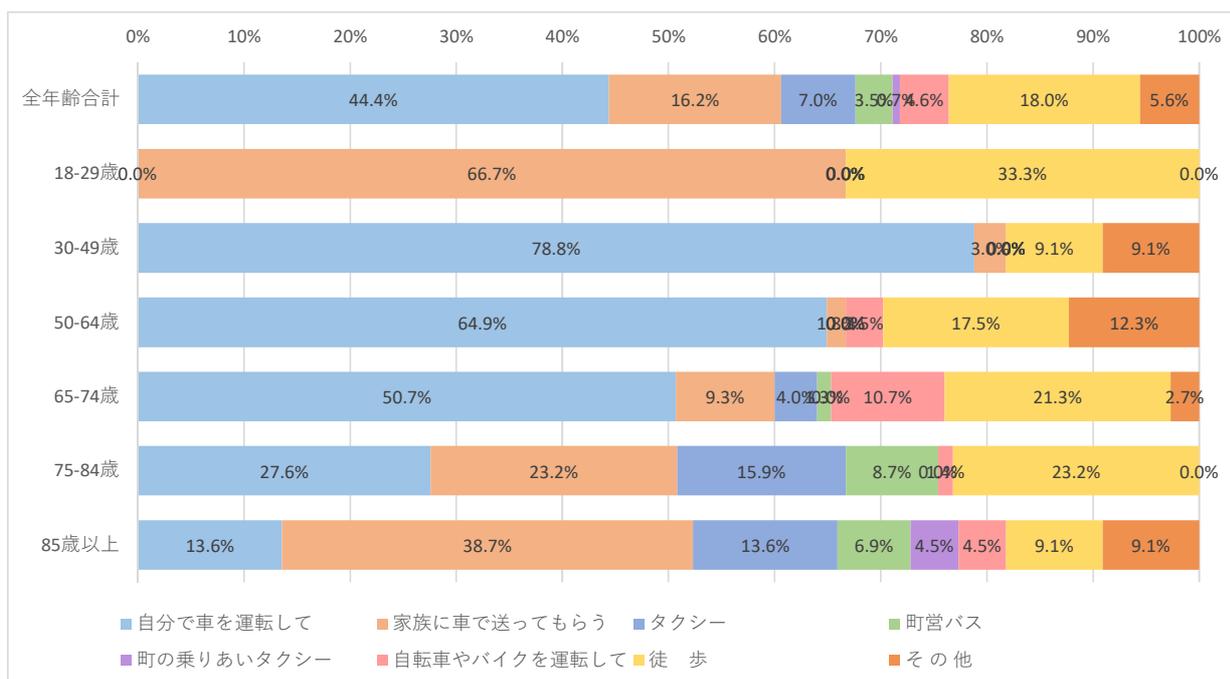
## ②整形外科



## ③眼科

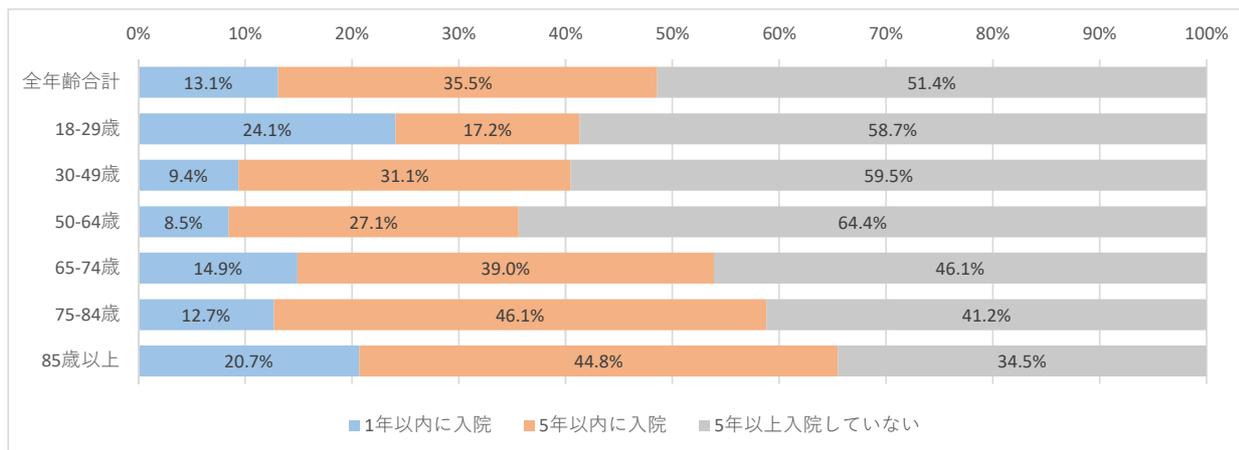


## 問2 (3)通院するときの交通手段はどれですか(町立病院の内科を利用している人)

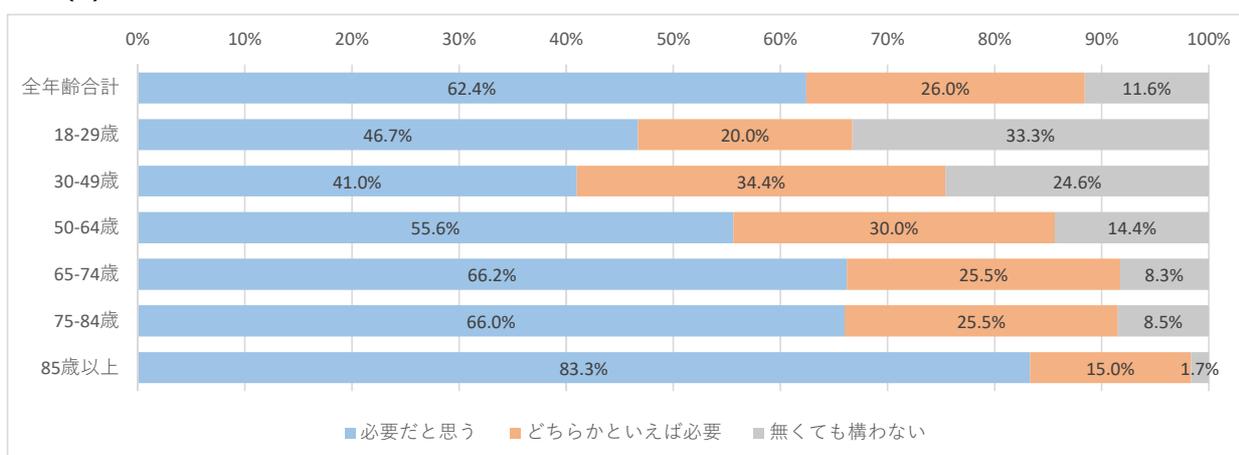


- ・各診療科とも同じような傾向となり、年齢の上昇とともに町立病院に通院している割合が、全病院平均よりも高くなっている。
- ・自力での移動が容易な若年層の人は近隣を含めた病院を受診しているが、自分で車を運転する人の割合に反比例するように、町立病院を利用している人の割合が高くなっている。

## 問3 (1)過去に自身又は家族が入院したことはありますか

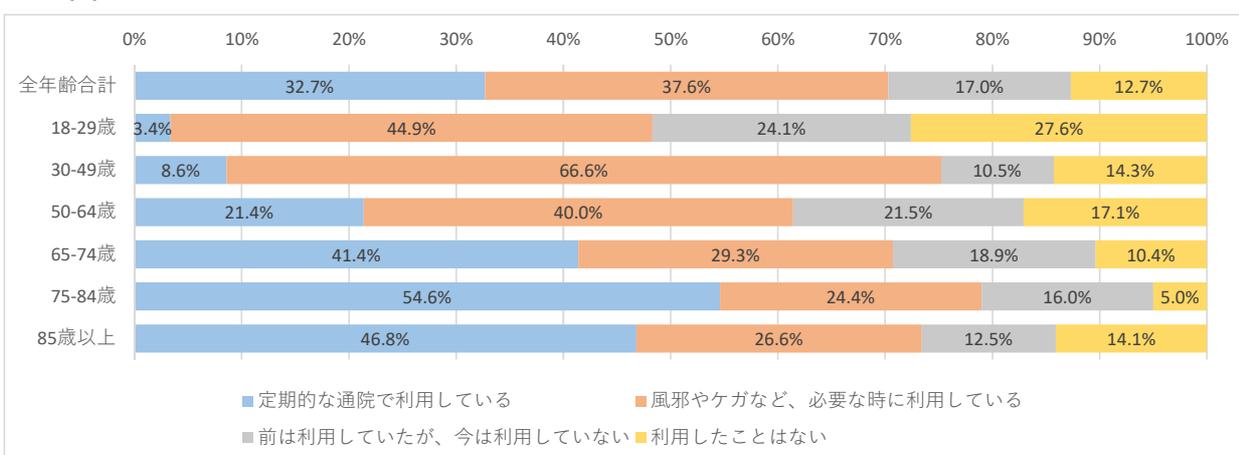


## 問3 (5)町内に入院可能な病院は必要だと思いますか



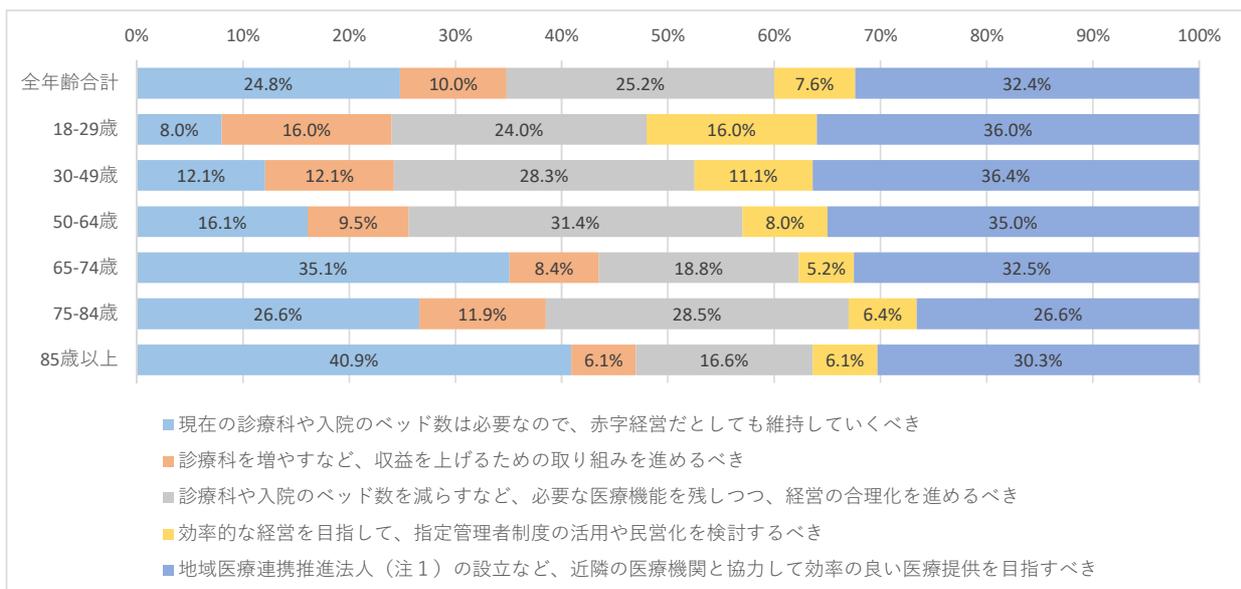
- ・問2と同様の傾向で、年齢が上がると町内に「入院医療機関が必要だ」と回答する人の割合が高くなっている。
- ・29歳以下の人には、「無くても構わない」と回答した人が3分の1いるという結果となった。

## 問4 (1)町立病院を利用したことがありますか



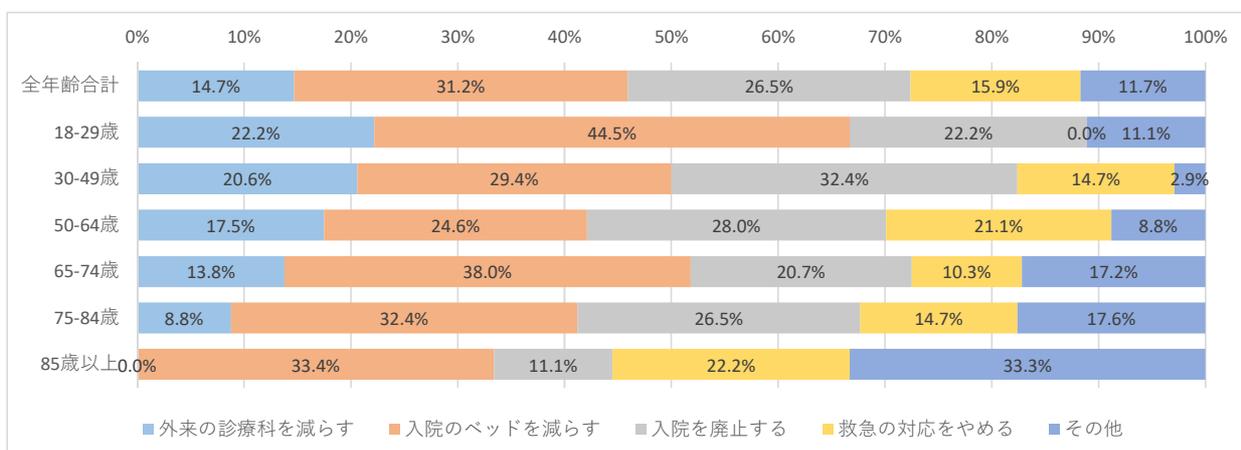
- ・「利用したことはない」と回答している人が若い年代に多いが、「受診したい診療科がない」や「他にかりつけの病院がある」ということが主な理由となっている。
- ・スタッフの対応等、批判的な回答をした人については、年齢による大きな偏りは認められなかった。

## 問5 (2)町立病院を今後どうしていくべきか、あなたの考えに最も近いものはどれですか。



- ・最も回答率の高かった「地域医療連携推進法人等の効率の良い医療提供を目指す」という回答は、各年代とも30%程度となり、年代による大きな偏りはなかった。
- ・「現状を維持」という回答は年代による差が大きく、29歳以下の8%に対して、85歳以上は40%となるなど、年代に合わせて比率が上昇していく傾向となった。
- ・「合理化を進めるべき」という回答は、年代が上がると少なく傾向は見られるが、数値の変動幅はあまり大きくない結果となっている。

## 問5 (4)経営の合理化に向けてどのような取り組みを進めるべきだと思いますか



- ・経営の合理化を進める場合では、「入院の縮小又は廃止」を求める回答が、若い年代ほど高くなっており、29歳以下では67%と高い割合になっている。
- ・「外来の診療科を減らす」という回答は、年代が上がるにつれて、割合が低くなっている。